



# 東北へバスで行くボランティア募集!

## ～南相馬市仮設住宅「土日サロン」ボランティア～

仮設住宅で生活されている被災者の方々に「お茶会サロン」を開き、孤立防止と気分転換、生活の質向上の一助となればと願って、広島からボランティアを募集します。

日程 ①平成23年 9月16日(金) 19時広島出発～9月19日(祝月) 早朝に広島着  
②平成23年 10月14日(金) 19時広島出発～10月17日(月) 早朝に広島着

行き先(受入れ先): 「南相馬市生活復興ボランティアセンター」  
福島県南相馬市鹿島区西町 2-117 南相馬市社会福祉協議会  
鹿島区福祉サービスセンター内 TEL 0244-46-1058

活動場所: 鹿島区内仮設住宅  
宿泊場所: 原町第二中学校体育館(※食事や入浴は、近隣の店、銭湯を利用します)  
募集人数: 20名程度  
参加費: 1人 20,000円(バス代)  
持参物: 宿泊用寝袋、入浴・洗顔・はみがき用具、着替え、常備薬、健康保険証、ボランティア活動保険加入者証、現金(食事、入浴代ほか)  
参加申込締切: ①②とも、9月10日(土)  
事前打ち合わせ: 9月10日(土) 10:00～12:00 広島市社会福祉センター3階

＜申込・問い合わせ先＞  
広島市被災者支援ボランティア本部  
広島市中区千田町 1-9-43  
広島市社会福祉センター  
TEL: 544-3399 FAX: 544-3403

# 東区ボランティア活動情報紙

# みちしお

平成23年9月146号  
＜編集・発行＞  
社会福祉法人 広島市東区社会福祉協議会  
東区ボランティアセンター  
〒732-8510 広島市東区東蟹屋町9-34  
東区総合福祉センター4階  
TEL (082)263-8443  
FAX (082)264-9254  
E-mail: [higashi@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:higashi@shakyohiroshima-city.or.jp)  
<http://www.shakyo-hiroshima.jp/higashi/>



## ボランティア活動ステップアップ講座

# 『今どきの子育て』

### ～みんなで育てよう地域の子ども～

日時: 10月3日(月) 10:00～12:00

会場: 東区総合福祉センター 4階 ボランティア研修室  
講師: 東区保健福祉課 保健指導係 子育て支援専門員 谷寿美江氏  
内容: 子育ての今と昔/孤立する母親像/ボランティアが支える子育て  
定員: 40名  
申込締切: 9月28日(水)



# 精神障害者を支援するボランティア養成講座

友だち、家族、知人…、私たちの周りには「こころの病気」を抱えながら地域で生活している方がたくさんいます。まずは、こころの病気を理解し、ボランティアで何ができるのか一緒に考えてみませんか。

	日時	項目	内容
①	11/11(金)	こころの病気の理解について	精神科医師のお話
②	11/18(金)	こころに病気を持つ人への関わり方	精神保健福祉士のお話
③	11/21,22,24,25 (この間1回選択)	施設体験 ～施設利用者との交流～	東区内の社会復帰施設などの見学
④	12/2(金)	まとめ、座談会 ボランティア活動について	講座の感想 今後のボランティアについて

時間: ①②④ 13:30～15:30/③体験先により異なります  
会場: 東区総合福祉センター 4階 ボランティア研修室  
対象: 精神障害者の支援活動に関心がある方  
参加費: 無料  
定員: 30人(※事前申し込みが必要です)  
共催: 東区保健福祉課 東区社会福祉協議会  
備考: 「施設体験」の日程については、申込後に調整します。

## お知らせ

# 大和証券 福祉財団 『第18回ボランティア活動助成』

応募資格: ボランティア活動を目的とした団体・グループ、学生・若者のボランティア活動も積極的に支援します。(申込に際しては、市区社会福祉協議会・共同募金会の推薦必須)  
応募課題: 特に在宅老人、障がい児・者、児童問題等に対するボランティア活動  
助成金: 上限30万円(総額1,500万円)  
助成対象期間: 平成24年1月～12月の活動に対して助成  
応募締切: 平成23年9月15日(木)(当日消印有効)  
申込書請求: 財団ホームページからダウンロード可  
申込書送付先: 公益財団法人 大和証券福祉財団  
〒104-0031 東京都中央区京橋 1-2-1 大和八重洲ビル  
TEL: 03-5555-4640 / FAX: 03-5202-2014

# “東区ふくしまつり”開催中止のお知らせ

11月5日(土)に予定しておりました「東区ふくしまつり」の開催は中止となりました。今までご協力ありがとうございました。

掲載記事に関するご意見・ご感想、各講座などへの参加申込につきましては、東区社会福祉協議会までお問合せください。(TEL: 263-8443 / FAX: 264-9254)  
※ 東区総合福祉センターへお越しの際は、なるべく公共交通機関をご利用ください。

# 東区夏休み “ちょっと” 福祉体験スクール 2011

8/16~24、夏休み恒例の福祉体験スクールには、今年も新しい発見、出会いがありました。参加人数は9名と少なかったですが、受講生の素直なつぶやき、感想にたくさんの元気をいただきました！



## ←<車いす体験>

体の不自由な人がどれだけ苦労しているか分かったし、介護することも簡単でないということが分かりました。

## <障害児との交流

「ミニ運動会」>→レクリエーションで、どうしたら気持ちが伝わるかが分かったし、言葉一言で楽しませることができると分かりました。



## ↑<視覚障害者手引き体験>

初めて手引き体験をさせていただいて、今まで感じなかったものを感じることができました。

<まとめ> 初めての経験も多く、とまどうことも多かったけど、今まで自分があまり接することのなかった人ともたくさんふれあうことができ、本当にどれも貴重な体験でした。

この体験で全てに通じていたことは、相手と真剣に自分が向き合っていけば、どんな人でも気持ちは通じる！ということが身にしみてわかりました。そして、自分の想像以上に社会は障がい者の方々の願いに応えることができているんだということがわかり、これからどんどんバリアフリーな社会になっていけばいいなと思いました。

川柳大賞 金賞受賞作品  
★小さな手 手と手をつなげ 大きな輪 (ミニ運動会にて)  
銀賞受賞作品  
★きらきらと 輝く笑顔 皆同じ (ミニ運動会にて)  
★人の不安 声かけひとつで 打ち溶かす (車いす体験にて)



## ↑<障害児との交流「ミニ運動会」>

障害をもっているからといって特別な気持ちを持って接するのではなく、相手が嫌がるような事は何かというのを考えた上で、普通に接していこうと思う。



## <要約筆記体験>

今まで要約筆記の存在を知らなかった。読み手の人が文章を読んでいる時に、書き続けるのは大変でした。



↑<手話体験> 手話はわからないし、詳しいところまで読み取れるわけではないけれど、きちんと向き合えば何が言いたいのか少しずつわかるようになり、普通にコミュニケーションをとることは難しくないんだとわかった。

銅賞受賞作品  
★隠し味「おいしくなあれ」のおまじない (施設体験 障害児とのクッキングにて)

## 「震災ボランティア体験について」

遠野まごころネットを拠点に岩手県陸前高田市で震災ボランティア活動をされた広島市立大学大学院生の菅原和也さんから現地の状況、活動で感じたことなどについてお聞きしました。

「学生の私たちができることは？」という受講生の質問にも同年代ならではの実感のこもった回答があり、みんな納得でした。



←<震災ボランティア体験> 今すぐボランティアには行けないけど、菅原さんが言っていたように、しっかり勉強して何年後には被災者を肉体的にも精神的にもサポートしたいです。



## 実習生レポート



私は今回、「東区夏休み“ちょっと”福祉体験スクール(ヤングボランティアスクール)」に参加させていただきました。事前研修で車いす体験や視覚障害の方の手引き体験、障害児との交流の「ミニ運動会」などを行いました。事前研修では、どの受講生も真剣に講師の方のお話を聞き、実際の体験でも真剣に、時には楽しく取り組んでいました。

8月24日のまとめでは、事前研修と施設体験での感想や気づきの発表を行い、私も事前研修での感想を発表させていただきました。受講生たちの発表を聞き、私とは違った視点からの考え方、ものの見方をしており、私が気づくことができなかつたことに気づかせてくれました。

今回のこのスクールで知ったこと、学んだことをしっかりと自分のものにし、これから活かしていけるようにしようと思います。

受講生の皆さん、講師・ボランティアの方々、東区社協職員の皆さま、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。  
県立広島大学3年 須藤 明子

## 東区障害児親子教室 ちゃいちゃいくらぶ

### 「自分にできることは何だろう…」

## 実習生レポート



8/29「障がい児親子教室 ちゃいちゃいくらぶ」レクリエーション&マジックショーに参加させていただきました。参加者は子どもさん・兄弟さん・保護者の方、また地域のボランティアの方も来られ、わいわいと楽しい雰囲気の中で行われました。

レクリエーションでは、明るく気さくなレクの先生と一緒に広い空間でジャンケン大会・紙飛行機づくり・チラシビリビリタイム!などをし、思う存分楽しんでいる様子が見られました。普段家ではできない(怒られる…)ような遊びや、多くの人とふれあえる遊びを通して、自由に活発に自分の思いを表現できる場になっているのだと考えました。

マジックショーではマツダスペシャリストバンクの方が来られ、多彩なマジックが披露され、歓声やネ

タばらしを求める声が飛び交い、大盛り上がりでした。

私は実習を通して、一つひとつの活動の目的や背景を知り、参加者同士のつながりはもちろん、ボランティアとして来られる地域の方とのつながりも大切にされていることが分かりました。私も同じ東区に住む一員として、自分にできることは何かを考えて行動していきたいと思うようになりました。

参加者のみなさん、ボランティアの方々、社協職員の皆様、ありがとうございました。

広島国際大学3年 落久保 靖子

